

遊亀公園トライアルサウンディング 意見等集約

■ 現施設への意見

●賑わい広場

亀サークル

- ・ 亀サークル周囲の溝で、子どもがよく転んでいる。
- ・ 車いすのお子さん、また、ベビーカーを押すお母さんが、亀サークル周囲の溝に車輪を引っ掛け、出るのに苦労していた。
- ・ 踊りのイベントを実施する際、賑わい広場全体が円形となっているため、ステージを設置せずに済んだ。しかし、亀サークル周囲が溝となっているため、踊る際に注意するよう事前周知を行った。溝は必要ないと思う。
- ・ 亀サークルでは、円内で行うことのできるスポーツを実施しやすいのでは。



舗装

- ・ アスファルト舗装のため、踊りのイベントは実施しやすかった。
- ・ アスファルト舗装のため、子どもが走り回って転倒すると痛そうだなと感じる。
- ・ アスファルト舗装のため、テント固定用の杭が打てず、重りを用意する必要があった。
- ・ 舗装としてゴムマットを設置すれば、費用をかけずケガ・暑さ対策ともなる。

電気・給排水設備

- ・ 賑わい広場は「イベント広場」であるが、ただの広場となっている。電気・給排水設備を整備しないと、イベント実施の際に遊亀公園は選ばれない。
- ・ イベント実施の際は、電気設備を設けるべき。事業者とすると、発電機の持運びが不要となり、出店のハードルが下がる。

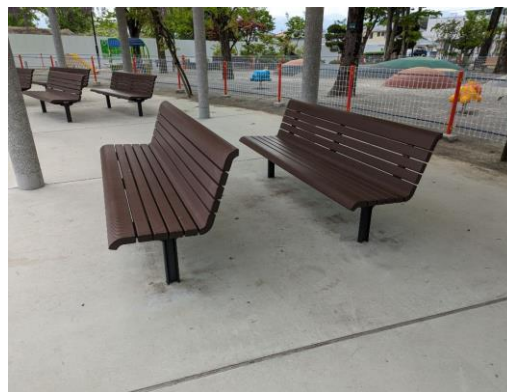
- ・ 今回は充電式スピーカーを持ち込んだが、基本的にはイベント実施の際は電源が必要。甲府駅北口よっちゃばれ広場のように、街灯から電源を確保できるとよい。
- ・ イベント事業者が電気・給排水設備を使用する際は、子メーターを付け使用料を徴収すべき。

照明設備

- ・ 照明設備があれば、夜間も公園を利用することができる。ハワイには100円を入れると一定時間照明を利用できる設備があり、それにより人を集めることで防犯対策機能についても持たせている。参考としてはどうか。
- ・ 公園での夜間イベントに対応できる屋外照明設備を設置すべき。

その他

- ・ 大きなイベントスペースがあり、緑・木陰もあるため、気持ちが和らぐ。
- ・ ベンチ・樹木があるため、賑わい広場は人を集めるポテンシャルがあると感じる。イベントの実施等、もっと気軽に来園できる目的があるとよい。
- ・ プロレスの実施ができるような、大きな広場であったのはよかった。
- ・ パーゴラは、賑わい広場内でのイベント観覧所としてのポテンシャルがある。ただ、ベンチが固定されており自由に動かせないため、空間をフレキシブルに使づらい。
- ・ イベント実施の際は、可動式のステージ・観覧席があると良い。
- ・ イベント時に搬出入する際、広場までの車両の通行スペースが狭かった。



●遊具、子どもの遊び関係

- ・ 乳児・幼児ゾーンはフェンスで囲われており、出入口にゲートがあるので、子どもが外に出ないことから、数名の保育士でも大勢の子どもを見守れるのでありがたい。
- ・ 乳児・幼児ゾーンのフェンスは迷子の発生を防ぐことができる。事実、イベント時に迷子は発生しなかった。

- ・ イベント実施時は、遊具使用を禁止した方が良い。また、子どもの安全のため「乳児・幼児ゾーン」の出入口を1つに絞ったほうがよい。
- ・ 乳児・幼児ゾーンのフェンス内にベンチ・荷物置き場を設置してほしい。
- ・ 未就学児ゾーンの滑り台（モーグルヒル）は、日射が強いと眩しくて目が痛くなり、また、熱を持って遊べない。
- ・ 新規に設置した遊具（乳児・幼児ゾーン、未就学児ゾーン）よりも、古くからある遊具（小学生ゾーン）の方が、子どもには人気である。
- ・ 公園北側（未就学児ゾーン、小学生ゾーン）は遊具や樹木が多いため、来園者が自由に使いやすいエリアだと感じる。
- ・ 子どもがケガをしないよう、軟らかい素材の遊具があると良い。特にブランコからの転落が心配なので、ブランコ周辺に軟らかいものを敷いてほしい。
- ・ 「子どもが転んでも痛くない場所が公園に欲しい。」という声を聞く。
- ・ 遊具の下は土となっているが、芝生であるとよい。
- ・ 職員が手入れをしており、いつも砂場が整っていて嬉しい。様々な遊具があって楽しい。
- ・ 散歩以外にもアスレチック等、小学校高学年から大人まで楽しめる設備が欲しい。
- ・ 遊亀公園は、動物園の余韻を楽しめる穏やかな雰囲気公園にすべき。有している独自性を活かすべきであり、「動物園は子ども向けの施設だから、公園も遊具をたくさん置けばよい！」という公園としてはならない。



●植栽・園路・ロープ柵

植栽

- ・ 乳幼児ゾーン南側の植栽帯は第 1 駐車場から見える位置にあるため、そのあたりでイベントを実施したい。今回は、その範囲に看板を設置し、賑わい広場へ誘導する工夫を行った。
- ・ 公園内の樹種がバラバラで、テーマ性が無い。
- ・ 珍しい鳥が園内の木に留まりに来るので毎年楽しみにしているが、整備中だからか今年は来ない。整備も大切だが、公園内の大きな木を切らないでほしい。
- ・ 公園内には桜でなく桃を植えては。また、ブドウ棚を設けるなど、「山梨県の公園」というテーマ性を設けては。



園路

- ・ 園内は舗装されている箇所が多く、凹凸がなく車イスでも進みやすかった。ただ、公園入口の段差が車イスを押すのには少し大変だった。
- ・ 園路の木が搬出入を行うトラック・キッチンカーに接触する高さであったため、通行に気を遣った。
- ・ キッチンカーを園路に駐車する際、高さ 2.5mほどの園路上の樹木については、枝落としを行わないと木の枝がキッチンカーにかかってしまう。枝落としをせず、枝を避けるようにキッチンカーを駐車すると、車両と点字ブロックが干渉してしまう。
- ・ 園路のアスファルト舗装が薄く、車を乗り入れると舗装が沈む恐れがある。また、園路も狭いため、今回の事業も軽自動車のキッチンカーでしか出店ができなかった。
- ・ 遊亀通り沿いの車止めが引抜けられないため、車両通行可能幅員が狭くキッチンカーが通過するので精一杯だった。大型トラックの通過は不可能である。
- ・ 「1周 1km」など、公園と動物園内の園路、あるいは周辺地域を回遊できるウォーキングコースを設置してみてもどうか。



ロープ柵

- ・ 園内にロープ柵が張り巡らされており、子どもが走り回れるスペースがないなど、ただでさえ狭い公園であるのに遊べる範囲を更に狭めている。
- ・ ロープ柵の内側は貴重な木陰スペースとなっており、ヨガなどのイベントに適しているが、そこを使えないならば公園のポテンシャルが下がる。また、子どもが木に直接触れることで学ぶことは多くあるが、ロープ柵があると木に触れずそれができない。



●トイレ、授乳室

- ・ トイレが整備されており、清潔に保たれていた点は非常に良かった。
- ・ トイレが清潔で子どもが安心して使える。
- ・ トイレの便器数が少なく、イベント時等に足りるか心配である。
- ・ 親子連れが多く来園しているため、子ども用トイレや授乳室を公園内に設けるべき。
- ・ 交差感染防止のため、トイレの手洗い水栓、石鹼・アルコール供給栓がオートディスプレイ式のものであれば良い。

● 駐車場・駐輪場

- ・ 近所の高齢者は徒歩・自転車で公園へ来るが、親子連れは車で来る。駐車場の容量もそれなりにあるため、気軽に来ることができる公園だと思う。
- ・ 駐車場が併設されているため、イベントを開催しやすい。
- ・ 体を動かすイベントを実施する際、参加者は着替えのために車で来園する。イベント後、汗をかいた体で道路を渡り第2駐車場（遊亀通り西側）まで行くのは抵抗があるので、公園内（遊亀通り東側）に駐車場が欲しい。
- ・ 子どもの事故を防ぐことを考えると、道路を渡らせないために公園内（遊亀通り東側）に駐車場が欲しい。
- ・ 甲府市市街地の公園で駐車可能台数が100台以上ある公園はまず無いので、それが遊亀公園の強みである。ただし、動物園再開園後やイベント時には間違いなく駐車場は足りないであろう。
- ・ 大型イベントを実施する際は、駐車場敷地を更に確保したい。
- ・ 第1駐車場の奥（東側）から遊具スペースまでが遠い。また、渋滞しやすい形状であるため、駐車場内にロータリーを設けるべき。
- ・ 現状の駐車場は、通り抜けができず渋滞しやすい形状であるため、動物園再開園後やイベント時には駐車場整理員が必要となる。
- ・ 有料でも構わないので、公園と隣接した箇所に駐車場を設けるべき。そうしないと来園者は近隣のコンビニエンスストア等の駐車場に無断駐車するため、苦情の原因となる。
- ・ 公園内の駐車場を有料化した場合、運営収益の一助とはなるが、近隣商店駐車場への無断駐車や路上駐車などの影響が出る可能性がある。
- ・ 旧中北保健所敷地を駐車場として利用できないか。
- ・ 公園の利用者より駐車場の車のほうが多い（公園に車を停めてどこかへ行ってしまう）ことがあるため、駐車場整理員が必要では。
- ・ 第1駐車場の西側を、学生やスタートアップ事業者のチャレンジショップスペースとしてはどうか。
- ・ 遊亀通りに面しておりアクセスが良いため、第2駐車場で事業を行いたい事業者がいるかもしれない。
- ・ 現在、自転車での来園者は少ないが、駐輪場を充実させることにより「自転車でも来たい」との意識付けができる。



●遊園地

- ・ 遊園地の場所が奥まっておりに分りにくい。個人的には残っていてほしい。

●サイン

- ・ 公園内に園内の案内板が欲しい。
- ・ 公共交通機関の運行便数が少ないのもあるが、公園までの案内看板が少なく、地元でない人は公園までのルートが分からないため、イベント会場としての集客力が弱いと感じる。道路上に公園・動物園までの案内看板を設置した方がよい。
- ・ 公園への行き方、特に青葉通りからの行き方が分かり難いため、道路上に公園までの案内看板が欲しい。
- ・ イベント出店者・参加者から、道路上に案内看板がないことから、公園の入口が分からず迷ったという声があった。
- ・ 公園内でイベントを実施する際、外からの来客を引き込むため、遊亀通り沿いにイベントを告知できるのぼり旗立てや、掲示板のようなものがあると事業者としてはありがたい。公園内のイベントだけでなく、「交通安全週間」「防災週間」等にも活用できる。



●現施設その他

- ・ 遊亀公園でのマルシェの開催は、子どもが遊べる遊具があり設営に集中できるため、子連れの出店者からは特に好評だった。次回は甲府駅北口広場での開催を考えているが、子どもが電車を見ようとして広場南側の道路に飛び出してしまう懸念がある。そのような心配が無いのも遊亀公園の強みである。
- ・ 公園がきちんと整備され過ぎていて、無機質な印象を受ける。整備前は情緒があり、親しみやすい公園だった。
- ・ 水飲み場・手洗い場には踏み台を置くなどして、子どもが使いやすい高さとした方がよい。
- ・ 夏は蚊が多い。

■ 公園の新規整備関係

●暑さ・雨天対策、水場関係に関する記載

日射・雨天対策・屋内空間

- ・ 日陰・木陰が多く、涼しくて遊びやすい。
- ・ 屋内空間が無く、雨天・強風といった天候に左右されるため、利便性・使い勝手にやや難がある。
- ・ 夏の暑さが厳しい甲府であるため、日陰となる設備を設けないと、夏季に何もできない公園となる。
- ・ 屋根付きのスペースがあれば、イベント会場・用具スペースとして雨天でもイベントを開催できるだけでなく、夏場の日よけの休憩スペースとして普段使いもできる。
- ・ 公園に屋根スペースが一部でもあれば、小雨時にイベントを決行できる。ただし、常設の屋根を設けるのは費用的に厳しいと思われることから、タープを公園で貸出すなどの仕組みがあれば良い。
- ・ マルシェの実施には、雨天・強風対策のため、コンテナハウスや軒下スペースがあると良い。屋根と映像映写用の壁面を兼用した建物をボランティアにより作成し、携わった参加者の名前を入れ、「みんなで作った公園」のシンボルとしても良い。
- ・ 雨天時に公園内を濡れずに歩けるような設備（屋根）の設置が望ましい。
- ・ 「暑さ対策に屋根を！」という意見もあると思うが、公園を狭く見せてしまう一面もあるため、設置後のイメージなど、景観とセットで慎重に考えるべき。

水場・ミスト

- ・ ミストなど、涼を感じ、暑さ対策ともなる設備が欲しい。
- ・ 子どもたちが遊べる、親が目目を離しても安全な水位の水場が欲しい。
- ・ 小川のようなせせらぎが園内にあればよい。

- ・ 水場やミスト機能があると涼感をもたらすだけでなく、身長が低くアスファルトの反射熱を受けやすい子どもにとっては、熱中症対策にもなる。ただし、水を使用する際は、蚊の発生対策が同時に必要となる。
- ・ 子どもが水で遊べる環境は嬉しいが、水中にある割れたビン等を踏み、足にケガをしないかが心配である。

その他

- ・ 園路がアスファルト舗装だと、体感的・視覚的に熱く感じ、夏季に遊亀公園を利用するイメージが起きない。
- ・ 熱中症のリスクがあるので、現状の遊亀公園の設備だと夏季の利用は敬遠される。
- ・ 暑さのため、夏季の午前10時以降は来園者が減る。
- ・ 暑い時間帯のシニア向けイベントは、参加者が見込めない。
- ・ 遊具が日射で熱を持っているため、半ズボンやスカートを穿いた子どもが滑り台を使用する際に火傷しないか心配。下に敷くものが必要。
- ・ 屋外での企画は雨天時の返金対応などが発生するため、実施にあたっては天候のみが心配の種だった。

●飲食・物販施設に関する記載

- ・ 飲食事業者が参入する際は、当然ながら公園に電気・給排水設備が必要。
- ・ 電源・給排水設備が無いと、飲食事業の出店はキッチンカーが中心となる。
- ・ 飲食イベント実施の際は、調理・洗い物ができる仕込み場のようなスペースが欲しい。仕込み場については、油を流したり、大量に水を使ったりする等モラルの無い人がいるため、自由使用できる屋外でなく、屋内の有料貸出スペースであれば良い。
- ・ 公園内に飲食・物販機能は必要だと思う。シェアキッチンのように様々な事業者が交代で出店できるような設備・仕組みが望ましい。遊亀公園には駐車場があり、気軽に来店できる点がシェアキッチンの強みともなる。シェアキッチンを設置する場合、賃料は日払い・月払い等を選択できるとよい。
- ・ 交通量の多い遊亀通り沿いの「第2駐車場」、対面の「一蓮寺入口南付近」に軒下のある建物を設け、カフェ等の出店があれば利用者を見込めるのでは。
- ・ 飲食・物販の建物が市の所有であれば、大手企業、また長期で業者が参入することは厳しくなるため、建物は民設民営としてみては。

●広場

- ・ 芝生広場を設けると、遊びをはじめ、スポーツイベントについても実施しやすくなる。その際は池沿いに整備することで、涼感を感じられるゾーンとできる。ただし、整備・管理には費用がかかるため、活用方針を事前に検討すべき。

- ・ 池の西側に芝生広場があれば、良いロケーションとなるのでは。そこに仮設ステージを設け、イベントを実施したい。
- ・ 親子連れのピクニックスペースとして、整備前の公園にあったような芝生広場スペースが再整備されることを期待している。
- ・ 激しく身体を動かすイベントは、足元が芝生だと滑ってしまうため実施は厳しい。反対に、ヨガ等を実施する際は芝生での実施が望ましい。



●その他

- ・ 子どもが公園から道路に飛び出さないよう、乳児・幼児ゾーンのようなフェンスがもっとあると、親は安心して遊ばせることができる。
- ・ 今回のイベントでは、ポイ捨てや火事を防ぐために喫煙所を設置した（遊亀通り側トイレの裏）。今後のイベント時は、目立たない場所への喫煙所の設置を義務付けても良いのでは。市の予算で喫煙所を設置する必要はないと考える。
- ・ 東京の公園では、腰かけて飲食・作業をできるスペースがある。動物園を楽しんだ後に余韻に浸り、腰掛けながら作業できるようなスペースを設けては。動物園の有する教育機能を公園でも発揮するためには、ワークショップ等を実施できる作業スペースの設置が望ましい。
- ・ 通常時は別用途だが、イベント実施の際に更衣室となる屋内空間があるとよい。
- ・ 音楽イベント実施の際には、音が反響する板のような設備があるとよい
- ・ 足湯設備・タオル自販機を併設し、くつろげるような空間があっても面白い。
- ・ ブドウ棚やポタジェ（家庭菜園）、陸稲による稲作ができる小面積のスペースがあると、動物園に併設された教育機能を有する公園としても良いのではないかと。
- ・ イベント実施を周知できるような掲示板が欲しい。廃材を使い、ワークショップにて設置をしてはどうか。
- ・ 質の良いビオトープは環境教育効果が高い。ビオトープをワークショップの一環で造り、参加者により管理していく仕組みを設けてはどうか。
- ・ アンコールワットのように、寄附により公園を整備できるような仕組みがあれば。

- ・ 再整備にあたっては、これまでに整備した箇所（公園第1期整備箇所）とギャップが生じないように、配慮に徹底すべき。
- ・ 動物園があるので、公園に特別な施設を求めなくてもよいのではないか。
- ・ 近くに住んでいるが、公園に来るまでの道が悪いため、整備をしてほしい。



■ 公園の管理運営等（ソフト面）への意見

● イベント、自由利用

- ・ 遊亀公園には、動物園・正ノ木祭の際しか行かないイメージがあるので、イベントの実施による集客が重要である。
- ・ 毎週定期的な企画を継続的に実施するなど、人が集う理由を設定する必要がある。
- ・ 何も予定がない日、例えば休日の朝でも、「遊亀公園に行けば何かある！」と思わせ自然に足が向かうよう、継続的な取組の実施が必要である。
- ・ 定期的に企画を実施することで、出店事業者同士の顔合わせ場所づくりともなり、それにより企画実施コミュニティが組成されることで、さらなる継続的な企画の実施が期待できる。
- ・ 駐車場が整備されており、ファミリー層が遊びに来やすい公園であるため、公園内での実施プログラムを更に充実させることで、公園のポテンシャルを高めるべき。
- ・ トライアルサウンディングの実施状況を見ると、一時的なイベントが多い。このままだと、イベントが無ければ公園に来る理由も無くなってしまい、また、イベントに必要な設備への支出が増えてしまう。イベントの充実とともに、日常使いの充実の検討を忘れてはならない。
- ・ 企画の量よりも、質の方が重要。質の悪い企画を数多く実施すると「つまらないことしかやらない公園」とのレッテル貼りをされてしまい、人足が遠のいてしまう。
- ・ 公園使用のハードルを下げることは、誰でも気軽に来店しやすくなる反面、利益をあげることしか考えない者、また、反社会的勢力の参入を防ぐために厳しい審査を行う必要が発生することから、慎重に進める必要がある。また、申請書の提出から出店時の運営まで行政頼りの者もいるため、それを拒む姿勢が市には必要である。
- ・ イベント実施者が出店者を募る際には、イベント趣旨に合う出店者であるかどうかの判断が重要である。出店者を選ぶことで客層も選ぶことができる。
- ・ 動物園を併設する公園であるため、イベントの実施は、親子連れをターゲットとするものが望ましい。
- ・ 子どもが遊びまわるのにも十分な広さがあるので、ファミリー層へ向けた企画を毎月催行し認知度を高め、近隣住民が気軽に訪れ交流できる場所としたい。
- ・ イベントは、子ども向け・若年層向け・シニア向けと、年齢層を分けて設定すべき。ちなみに、若年層向けのイベントは、参加型ダンスイベントが人気である。
- ・ 企画については、年齢や性別でなく、趣味嗜好ベースでターゲットの設定をしてもいいのでは。
- ・ 企画実施の規定があると良い。例えば、音楽ライブをする際は「音を何デシベルまでに抑える」等、定量的な水準があれば公園の使いやすさにつながる。
- ・ 申請から開催までの手続きの流れが分かる指針等が欲しい。
- ・ イベントの実施は、公園を純粋に利用したい方の利用スペースを狭める側面もある。

- ・ 狭い公園であるため、イベント参加者と、それ以外の来園者との利用が干渉するため、利便性・使い勝手にやや難がある。
- ・ 当団体では、イベント後に公園内のクリーンアップ活動を行っている。このように、「来た時よりも美しく」という何らかの取組をイベント実施団体に義務付けるべきである。それにより、イベント実施について、近隣からの印象も良くなるであろう。
- ・ 飲食物を販売する際は、各店にゴミ袋を設置し食べ殻を回収するようルール化すべき。
- ・ 近隣ホテルの宿泊客にも、遊亀公園実施イベントの告知をできればよい。
- ・ イベントを定期的で開催するため、サポーター制度を設けてはどうか。厳正な審査を通過した後、料金都度払いで1年間自由に利用できるとの立付けならば、参入したい人は大勢いるであろう。
- ・ 継続的なイベント実施は、周辺店舗へ集客をもたらすなど、地域の活性化に繋がっていく。このため、遊亀公園から周辺店舗までの動線を検討すべき。
- ・ 教育施設である動物園を併設するため、チャレンジの場として学生にも公園を利用してもらおうべき。

●利用時間

- ・ 動物園が休園中なので、公園利用者は20～30分で帰る方がほとんど。夏季は、暑くなる前に来て少し遊んだら帰るようなイメージ。
- ・ 夏季の平日は、午前9～10時は利用者があまりいない。未就学児と母親の組み合わせの親子連れが多い。小学生は暑さのせいかわかりにくい。
- ・ 夏季休日のイベント時は、午前中の来園者が多かった。

●使用・占用料金

- ・ 使用・占用料金が発生する場合、雨天中止となれば料金は免除となると、開催のハードルは下がる。今回はトライアル（お試し）ということで、使用・占用料金が発生しなかったため参加料を安価とでき、集客につなげることができた。
- ・ 動物園目的の来園者を取り込むことが期待できる等、遊亀公園ならではのメリットが何かあれば、公園の使用料を有料としても良いと考える。
- ・ 収益施設については、集客性が不明瞭なこと、飲食物は消費期限があることを考えると、出店料は取らない方針とできればよい。それにより、スタートアップ事業者が集まるのではないかと。
- ・ 出店料は固定料金でなく、「売上の●%を出店料とし、公園の維持管理に充てる。」との立付けの方が、民間事業者は参入しやすく、市としても説明しやすいのでは。
- ・ 出店料について、事業者の売上料金の把握を市では行えないため、「売上の●%を出店料」とする歩合徴収は厳しいのでは。

- ・ 使用料が発生する場合、半日・1 時間と利用体系を選択できると利用しやすい。また、周知期間を設けるため、少なくとも 3 ヶ月以上前から予約できると良い。
- ・ 「何十人以上でないと使えない」という縛りがあると使いづらい。

●収益機能

- ・ 公園・動物園内の売店でアイスやおでんを買って食べた思い出がある。そのような機能を再び持たせたい。
- ・ 企画実施当日に、「飲食物の販売はないのか」と多くの来園者から問い合わせがあった。
- ・ 親子連れの来園者が多いので、飲食・物販は子ども向けのものを中心に。安価で、子供受けし、周囲の店に売ってないものを遊亀通り側の公園出入口付近で販売すると効果的では。
- ・ 午前と午後を跨ぐイベントを実施する際は、軽食を取れる店舗が公園内にあると喜ばれる。夕食の時間まで営業していると尚良い。ただし、徒歩圏内にコンビニ等があれば、話は別であるが。
- ・ 遊亀公園オリジナルの軽食（例：カメをモチーフにしたパン等）があると来園者に喜ばれるであろう。
- ・ 動物園来園者の満足度を高めるため、お土産となる動物園グッズを販売すべき。
- ・ 公園内に自動販売機を設置し、子ども向けの飲み物を販売してほしい。

●キッチンカー

- ・ イベント時、キッチンカー販売者の平均売上額は 5 万円を超えたため、遊亀公園での事業性は十分あると考えている。提供時間がかかるクレープ等は売上が少なかったが、パン・おにぎり等の軽食は売切れるまでが早かった。
- ・ イベント時以外でも、遊亀公園で継続的にキッチンカーでの出店を希望する人は多い。キッチンカー事業者は、日替わり・曜日替わりでも、継続して出店できる場所を探している。
- ・ 公園駐車場の一部をキッチンカー専用の駐車場としてはどうか。
- ・ 公園使用料は定額とするのではなく、「売上額の●%を使用料」としてもらえると、キッチンカー事業者は参入しやすい。
- ・ 乳幼児ゾーン南側の園路は第 1 駐車場に近いことから、ここでキッチンカーを出店したい。

●備品の貸出

- ・ イス・テーブル・テントや音響設備等の備品を有料で借りられるサービスがあれば、試行的に企画を実施しやすくなる。そのために、備品を収納するための施設が必要である。

- ・ 備品の貸出を行うと、その管理が大変になり、簡易的なものはすぐに壊れてしまう。必要数も際限がなくなるので、実施は慎重に検討すべき。

●交通

- ・ 車で来園できることは強みだが、一方、運航便が少ないため、バスでの来園者は少ないと感じる。そのため、移住したばかりの人等はバスでの来園が難しいのでは。
- ・ 甲府駅から動物園までの直通バスがあるとよい。その際、バスの路線名を「動物園行き」、バス停を「遊亀公園・遊亀動物園」に変えてみると PR 効果があるのでは。
- ・ 甲府駅前及び市外の大規模店舗と連携し、動物園への直通バスを通すことで、来園者は店舗の駐車場を利用できることから、駐車場不足解決の一助となる。また、集客ができることから店舗側にもメリットとなる。その際は、公園内店舗のドリンク無料等のサービスを付与し、サービス代・バス代・入園料を合わせ 1 人 1,500 円ほど（家族連れは割引し、1 家族 3,000 円等）のメニューを設定しては。
- ・ イベント告知の際、ホームページにはバスの時刻表も掲載した。これにより、公共交通機関を利用する意識付けをさせるとともに、酒類を提供しやすくする効果があった。

●その他

- ・ 動物園休園中の公園の集客は課題を感じる。特に平日は厳しい。
- ・ 公園の利用について保育園の先生に聞いたが、動物園の休園中は遊亀公園を利用しないとのこと。また、参加者においても、遊亀公園に来たのは何十年ぶりだという声もあった。
- ・ 子ども連れの家族・高齢者といった来園者は日中に、若者は夜間に集客することで、全世代に親しみを持ってもらえるように取組めないか。
- ・ 遊具利用のために子どもが来園することは、業種によってはかなりのメリットとなるのではないかと感じる。
- ・ ハード面だけでなくソフト面でも、遊亀公園にしかない独自性を活かすべき。例えば、紙芝居おじさん等。
- ・ 甲府市の窓口である甲府駅に「遊亀公園・附属動物園」を感じるものがないため、甲府駅での PR を実施すべき。
- ・ 「遊亀公園の日」を制定し、その日は様々な催しを実施しては。ただし、収入を確保するため、動物園入園料の減額・免除は行わないほうがよい。
- ・ 小さな子どもが事故に遭わないよう、公園内での自転車の利用ルールを設けるべき。
- ・ 公園周囲の住民・事業者が協力的であり、企画を実施しやすかった。

■ 動物園への意見

- ・ 日常の中で気軽に訪れ、動物を観察できるのが本動物園の魅力である。小さい規模であることを強みとすべき。
- ・ ホームページに動画等を掲載するなど解説機能を充実させ、動物園に行けなくとも楽しめ・学べる、「バーチャル動物園」の仕組みを設けては。
- ・ ナイトサファリの実施により、ワクワク感を持ちながら夜の動物の生態を観察できる。夜の公園の使い方にも繋がっていくのでは。
- ・ 雨の日だからこそ動物園に行きたい！という仕組みを設けられれば。
- ・ ただ動物を観るだけでなく、エサやり体験や動物との写真撮影など、来園者に思い出を持ち帰っていただく仕組みがあると集客に繋がる。
- ・ 動物園の企業スポンサーが集まったら、プロサッカーチームのようにスポンサーTシャツを作り、その販売によって得られた資金を園内に還元できるような仕組みを取り入れてはどうか。

■ 運営

●公園の目指すべき方向性

- ・ 遊亀公園の強みは動物園があること。それを活かさない方法はない。
- ・ これまでは「遊亀公園附属動物園」であったが、これからは「遊亀動物園附属公園」ではないか。公園に動物園の色を出し、動物園の補完施設としていくべき。
- ・ 子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層が気軽に來ることのできる公園である。その特性は残して欲しい。
- ・ お試し（トライアル）で様々なことにチャレンジできる社会実験の場、つまり「失敗できる公園」となれば素晴らしい。学生・スタートアップ事業者に公園を使ってもらうことで、活気を生み出すこともできる。

●官民連携

- ・ 官民連携を導入する際は、行政・民間それぞれの強みを活かすべき。民間がイベントを企画し、行政はそれぞれ事業に強みを持つ事業者同士のマッチングの場づくりを行うなど。行政がマッチングに介入すると、民間事業者としては安心できる。
- ・ 指定管理者制度を導入すると、良くも悪くも参入会社の特色が強くなる。それをコントロールするためには、市で明確なコンセプトを設定することが重要である。
- ・ 指定管理者制度を導入するならば、「収益機能」「維持管理機能」の区分を厳密に設定した方がよい。

●収入策

- ・ 獣舎別にネーミングライツ制度を導入し、命名権料収入をその動物の管理費用に充当するなど、公費負担を減らす運営手法を検討すべき。
- ・ 公園内のトイレ・パーゴラなど、施設別にネーミングライツ制度を導入しては。
- ・ ネーミングライツ制度で命名権を獲得した企業に対し、その企業の福利厚生事業として社員の無料入園を認める仕組みを検討してはどうか。東海地方の動物園で同様の仕組みを導入している。

■ 遊亀公園・附属動物園にて官民連携事業が本格的に導入された際の参加意向

●企画の実施等

- ・ 公園使用料がかかっても遊亀公園で事業を実施したい。また、市の主催事業にも関わっていききたい。
- ・ 公園使用料の額、来園者数次第ではあるが、今後の参加意向はある。
- ・ 子ども・高齢者向け ZUMBA など、協力できることがあれば継続して開催したい。
- ・ 子どもと高齢者が関わりあえる企画の実施が喜ばれた。ニュースポーツ大会、健康相談会等を開催しながら、遊亀公園の普及活動も併せて行っていききたい。
- ・ フリーマーケットやマルシェの定期開催を行いたい。定期開催を行うならば、次回も参加したいという声をキッチンカー事業者からも多く受けている。使用料がかかっても遊亀公園を使用したい。
- ・ マルシェなどの販売イベントは、参加のためにはどうしても買わなければいけないイメージがあり、敷居を高く感じる人もいるであろう。無料で遊べる子ども向けの輪投げなど、誰でも参加できるようなイベントを実施したい。
- ・ 公園の持つ教育機能を発揮させるため、画像認識アプリを使いながら公園内に生息している虫などを探し、ゲーム感覚で生物多様性について学べる体験型イベントを実施したい。
- ・ 水素をエネルギー源としたコンサートなど、環境啓発企画を実施したい。
- ・ 屋外で社会問題を題材とした映像作品を放映し、そのまま同じ場所でその問題について考えるイベントを実施したい。
- ・ 公園にテントを張って泊まり、賞味期限が近づいた災害貯蓄食品を活用し飲食を行う等、災害時を想定した防災キャンプを実施したい。
- ・ 市内企業の職業体験イベントを定期的に変更し、市民+企業の交流を促進させる企画を実施したい。
- ・ 芝生広場での瞑想・座禅、賑わい広場での結婚式の実施など、寺院・神社と連携した取組を遊亀公園で実施できないか。
- ・ サービスを提供する側・される側という関係性の無い企画を実施したい。

■ トライアルサウンディング事業への意見

●提出関係

- ・ 書類提出が多く準備が大変であった。要領にある「利用上の注意点」は、もう少し完結して欲しい。
- ・ 企画の申請から運営までのフロー図があれば分かり易い。
- ・ 申請手続きは面倒ではあったが、市有施設を無料使用するためには仕方ないを考える。手続きの煩雑さで申請しなかった事業者はいると思うが、良質な企画を実施させるためにふるいをかける意味でも、現状の手続きのままで良い。
- ・ 審査結果が出るまで時間がかかったため、実施が不透明なままでイベントの準備をすることが難点であった。
- ・ 事前審査通過後、トライアルサウンディング会員登録を行い、会員となればインターネット上のみで利用申請が行える。という仕組みであれば良い。

●他施設の意見

- ・ 他の公園でもトライアルサウンディングを実施したい。
- ・ トライアルサウンディングの会場として総合市民会館を使用したい。

●市のスタンスの関係

- ・ 今回のトライアルサウンディングへの参加は、市へ協力しているという意識だった。周知について、もっと市の方でも働きかけをして欲しい。市とタイアップし、メディアへの広報に協力してもらえると、更に大きな企画を実施できる。
- ・ トライアルサウンディングの参加は自主自営が原則であると考えている。市の協力をあてにしてはならない。
- ・ トライアルサウンディングに参加したいが、1事業者での出店が心細く諦めている小規模事業者は大勢いると思われる。市はそのような事業者をマッチングさせ出店を促すなど、「繋ぎ」の機能を担って欲しい。

●その他

- ・ 開催期間を長期間設けるよりも、期間を短く区切るほうが実施日は明確になるため、小規模事業者も応募しやすくなる。
- ・ 無料での事業実施ができ、今後の事業方針を検討するために参考となった。中小事業者は1日5,000円でも支払うのは厳しい。